



プログラムA  
「ひかりのおと」  
監督：山崎樹一郎  
出演：藤久善友・森衣里・真砂豪  
2011年/カラー/HDV/89分

第24回東京国際映画祭  
「日本映画・ある視点」部門正式出品作品



プログラムB  
「TOCHKA」  
監督：松村浩行  
出演：藤田陽子・菅田俊  
2008年/カラー/DVCAM/93分

第22回東京国際映画祭  
「日本映画・ある視点」部門正式出品作品  
岡山初上映

この映画はまぎれもなく秀作だ。「牛飼」達の「新しき歌」(伊藤左千夫)を熱情的に交響させたからだけではない——「歌」が誕生するために、ひそやかな「偶然」の手助けがどれだけ我々に必要か。この洞察を明示した事実によって、そうなのだ(雄介と義行の議論の前後を見よ)。だが、評者には強い疑問もある。たとえば東京のフリーターの描き方、これは「地方」に媚びる貧しい紋切型ではないか？何より、「農協」のあり方を自問せず農村の「しがらみ」の核心が扱えるのか？トークでそれを聞かせてくれ。徹底的に話してくれ！

「男」は、自らを目撃する少年に何を与えてしまったか。「女」は、トーチカに向わず踵を返すことで何を与え得なかったのか。『TOCHKA』には、およそ芸術「チック」な感傷がない。松村浩行は断固として芸術＝政治的であり、万国のプロレタリアとともに問いかける——我々はいかに「反復」の悪無限から脱出すべきか、いかにして「歴史」を創設できるのか、と。自然騒音の強度で一切の美的親和性を打ち砕き、ある荒々しい、名付けようのない「冷たい場所」を到来させる現代日本の最高傑作を、「生ぬるい」岡山でついに上映！



プログラムC  
「労働」  
短編特集  
「疏水一流れに沿って」岡山初上映  
監督：能勢克男  
1934年/モノクロ/8mm  
→DV/15分  
「ある機関助手」  
監督：土本典昭  
1963年/カラー/16mm  
→DV/37分  
「よるこび」岡山初上映  
監督：松村浩行  
1999年/カラー/16mm  
→miniDV/32分



プログラムD  
「長居青春 酔夢歌」  
監督：佐藤零郎  
2009年/カラー/DV/63分

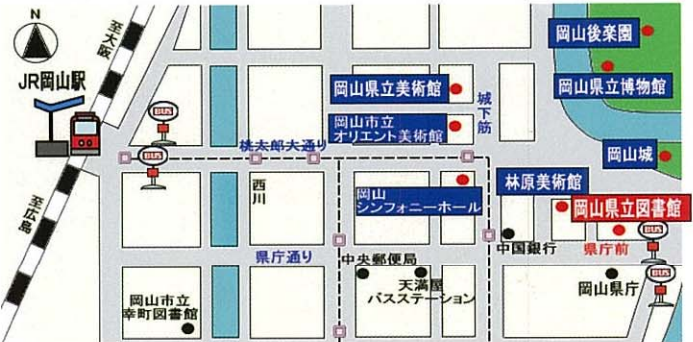
山形国際ドキュメンタリー映画祭  
2009  
アジア千波万波正式出品作品  
岡山初上映

日本の戦前・戦後・現代を通じて、「労働」を最初の作品の主題とした明晰な映像作家が三人いる。『若い芸術家の肖像』のジョイスが「宗教」と対決したように、彼らは自覚的な生硬さの中で、だが絶えまなく戦闘の始点に立ち戻るようにして、「自分自身の中にある自分自身ではないもの」との闘いを繰り返す。映画と自分にしか関心のない、心の狭いガキンチョよ去れ。この連中を急速冷凍して直ちに粉々にせよ！『疏水』(8mm)・『ある機関助手』(16mm)・『よるこび』(16mm)を今回は順にDVD・DVD・miniDVで上映。

「非暴力」による現実変革はいかに可能か。それは、国家の陰湿な権力＝暴力行使をいかに打ち砕き、他方で反権力内部における対抗暴力の群生をいかに克服しうるのか。『長居青春酔夢歌』は迷いなく、何より快活な喜びの中でこの難問に答えてみせる——すなわち、「非暴力」とはたど暴力のない、安逸な惰眠状態などでは全くないこと、その逆に暴力すらも凌駕する、強度にみちみずみずしい「力」の表現としてある、ということ。岡山の「市民」＝「国民」どもよ、直ちにこの作品を見よ！自らの感覚麻痺と体脂肪とを心底恥じよ！



プログラムE  
「へばの」  
監督：木村文洋  
出演：西山真来・吉岡睦雄・長谷川等・工藤佳子  
2008年/カラー/DVCAM/81分  
第32回カイロ国際映画祭  
シルバーアワード



【会場マップ】 県立図書館駐車場の夜間の利用はできません。  
(平日は19:10まで、土日祝は18:10まで)

秋葉原で殺人が起こるときやあざや騒ぎ、今また「福島瓦礫を絶対に首都圏に入れるな」とがなる、私的利益が全ての首都圏の「消費者」ども。『へばの』(＝青森弁で「さようなら」の意味)の真の主題は彼ら多数者の暴力を撃つことであり、口当りのいい反原発映画との差異はあまりに歴然だ。だがお馬鹿な「消費者」の側では依然、紀美が六ヶ所にとどまり、子供を生み育てる場面にしか賞讃を贈らない。なぜだ？何か後ろ暗いことでもあるのか？お前ら自身が福島で子供を育てるか、せめてロウソクで暮らしたらどうなんだ？(執筆＝鎌田哲哉)

会期/2011年11月3日(木)～6日(日)  
会場/岡山県立図書館デジタル情報シアター  
主催＝ローザ・ルクセンブルク研究会＋「重力」編集会議(090-5568-8965)  
共催＝陽光プロ、TOCHKA UNION/協力＝team JUDAS、能勢協＋占領開拓期文化研究会(立命館大学)、活動家集団 思想運動(敬称略)

11月3日 (木)	E へばの 11:00～12:30	D 長居青春酔夢歌 13:00～14:10	A ひかりのおと＋討議(1) 14:30～16:30 木村文洋×桑原広考 ×山崎樹一郎
11月4日 (金)		E へばの 16:40～18:10	C 「労働」特集＋討議(2) 18:30～20:40 雨宮幸明×松村浩行 ×鎌田哲哉
11月5日 (土)		B TOCHKA 12:45～14:20	A ひかりのおと＋討議(3) 14:40～16:40 松村浩行×山崎樹一郎 ×鎌田哲哉
11月6日 (日)	C 「労働」特集 9:40～11:10	D 長居青春酔夢歌 11:25～12:35	B TOCHKA＋討議 (4) 14:35～16:40 佐藤零郎×松村浩行 ×山崎樹一郎

1回券(B～E) 前売/1,000円、当日/1,200円(中学生以下無料) 1回券ではA「ひかりのおと」はご覧になれません。 別途お求め下さい。問い合わせ先→ info@hikarinooto.jp/080-5085-3876(担当:桑原)
人民券(パスポート) 前売/3,000円、当日/3,200円 人民券は期間中、「ひかりのおと」を含む全作品にご利用できます。会場入場時にご提示下さい。 ご入場は各回15～20分前、各回完全入れ替え制。 いかなる場合もチケットの払い戻し、再発行はいたしません。 前売券はざんざや、シンフォニーホールチケットCにて好評発売中！